

中小企業組合の羅針盤

診断士の視点から



中小企業診断士 南 晃二郎

» テーマ:人手不足を「因数分解」すると見えてくるもの

2024年7月の帝国データバンクの調査によると「人手不足を感じている」と回答した企業は、正社員で51.0%、非正社員で28.8%となり、業種業界の格差や少子高齢化、働き方関連法案の改正により、今後、更に深刻な課題となる見込みです。同時点の有効求人倍率は1.24倍と、採用市況においては「売り手市場」感が色濃く、上記の通り正社員採用の難易度が高まっている状況です。

人手不足の解消にあたっては、採用・育成だけでなく、同時に「業務の棚卸」を実行することが肝要です。人手不足は【業務量】と【対応力】のミスマッチによって生じる場合が多いわけですが、原因をより具体的に把握するため、【業務量】【対応力】それぞれについて構成要素を以下のように分解してみましょう。

全文は埼玉県中小企業団体中央会の機関誌「商工埼玉」11月号をご覧ください。

お問い合わせ 一般社団法人埼玉県中小企業診断協会
TEL:048-762-3350 ホームページ:<https://sai-smeca.com/>

